



Shaping a New Journey



NEWS RELEASE

2018年1月18日

南海電気鉄道株式会社

関西エアポート株式会社

桃園大眾捷運股份有限公司（桃園メトロ）

桃園國際機場股份有限公司（桃園國際空港）

「大阪市内～関西空港・桃園空港～台北市内」の鉄道企画切符を発売します

～4社連携企画第1弾！大阪⇄台北をスムーズに移動～

南海電気鉄道株式会社（取締役社長兼 CEO：遠北 光彦、以下「南海電鉄」）、関西エアポート株式会社（代表取締役社長 CEO：山谷 佳之、以下「関西エアポート」）、台湾の桃園大眾捷運股份有限公司（董事長：劉 坤億、以下「桃園メトロ」）、台湾の桃園國際機場股份有限公司（總經理：蕭 登科、以下「桃園國際空港」）の4社は、2018年2月1日より、相互連携し鉄道の企画切符を発売します。4社は、2017年4月24日にサービスの向上と日台間の交流人口拡大を目的とした連携協定を締結しており、今回が第1弾の取り組みです。国や地域を越えて空港運営会社と鉄道会社が共同で企画切符を発売する取り組みは、日本初となります。

この商品は、南海電鉄 難波・新今宮・天下茶屋～関西空港間の特急ラピート（スーパーシート）片道切符の引換券と、桃園メトロ 台北～桃園空港間の片道切符の引換券をセットにしたものです。これにより、現地で切符に引き換えるだけでスムーズに次の目的地へ移動することができます。また、特典として、チケットを提示することにより両空港でお食事やお買い物での割引やプレゼントのサービスを受けることができます。

訪日台湾人は、2016年に初めて400万人を超え、過去最多を記録し、うち約3割が関西国際空港を利用しています。台湾を訪れる日本人も7年連続で増加しているなか、両空港を利用されるお客様へのサービス向上を目的として今回の発売が決定しました。

今後も、4社連携によるシナジー効果を活かし、4社のツールを活用した共同プロモーションや事業、両空港、両沿線の観光地を活用した交流などの取り組みを推進し、日台間のさらなる旅客数増加に繋げられるよう努めてまいります。



特急ラピート（南海電鉄）



直達車（桃園メトロ）

【商品概要】

日本発売用

<表面>



<裏面>



台湾発売用

<表面>



<裏面>



1. 商品名 旅行“台湾⇔大阪”乗車券
2. 発売期間 2018年2月1日(木)～8月31日(金)
3. 引換期間 2018年2月1日(木)～12月31日(月)
4. 発売枚数 計3,000枚(日本:1,000枚 台湾:2,000枚)
5. 対象区間 南海電鉄…難波駅・新今宮駅・天下茶屋駅～関西空港駅間(相互)
 ※特急ラピート(スーパーシート)片道
 桃園メトロ…A1台北駅～A12空港第1ターミナル駅およびA13空港第2ターミナル駅間(相互)※片道
6. 発売価格 日本:1,770円 台湾:470台湾元
7. 発売および引換場所
 南海電鉄…難波駅、新今宮駅、天下茶屋駅、関西空港駅
 桃園メトロ…A1台北駅、A12空港第1ターミナル駅、A13空港第2ターミナル駅
 桃園国際空港…第1、2ターミナル入国フロア「桃園空港MR Tサービスカウンター」
8. 特典 本企画切符の提示で、関西国際空港20店、桃園国際空港10店以上の飲食・物販店での割引など
 詳細→https://www.kansai-airport.or.jp/osaka_taiwan?utm_source=qrcode&utm_medium=ticket&utm_campaign=osaka_taiwan

(WEBサイトは2月1日に開設予定)

【相互プロモーション】

相互連携施策の一環として、南海電鉄と桃園メトロの交通広告媒体を最大限に活用した情報発信により、日台間の相互送客を図ります。

南海電鉄	桃園メトロ
<p>① ラピートボディ広告（全側面）</p>  <p>イメージ（意匠制作中）</p> <p>【列車】特急ラピート（6両1編成） 【期間】2018年2月20日から8月末（予定）</p>	<p>① 車両広告（ボディ・車内）</p>  <p>【列車】直達車（5両1編成） 【期間】2018年1月中旬から7月中旬（予定）</p>
<p>② なんばガラリアツインビジョン</p>  <p>媒体イメージ（動画意匠制作中）</p> <p>【場所】難波駅1階「なんばガラリア」 【サイズ】55インチ32面（2基） 【放映】60秒、1日あたり190回放映 【期間】2018年3月中旬から9月中旬（予定）</p>	<p>② 台北駅デジタルサイネージ</p>  <p>媒体イメージ（動画意匠制作済）</p> <p>【場所】台北駅構内 【サイズ】75インチ16面、98インチ12面 【放映】1枠30秒、1日あたり510回放映 【期間】2018年1月中旬から2019年1月中旬（予定）</p>
	<p>③ 台北駅ホームドア広告</p>  <p>【場所】台北駅ホーム 【サイズ】4,500×1,970mm（8面） 【期間】2018年8月下旬から11月下旬（予定）</p>

【台湾での記者会見】

1. 日 時 2018年1月18日（木）9：00～10：15（現地時間）
2. 場 所 桃園メトロ 台北駅
3. 出席者 南海電気鉄道株式会社 専務取締役 金森 哲朗
関西エアポート株式会社 専務執行役員 坂本 龍平
桃園大眾捷運股份有限公司 董事長 劉 坤億
桃園國際機場股份有限公司 總經理 蕭 登科
4. 立会人 桃園市市長 鄭 文燦

【参考】

○南海電鉄について

1885年（明治18年）12月に、日本最初の純民間資本により創業した阪堺鉄道を前身にした鉄道会社。

大阪・難波を起点に、関西空港・和歌山市・高野山を結んでおり、営業キロ程は154.8 km。

○関西エアポート株式会社について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始。オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立。

両空港の安全と安心を常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としている。

○桃園メトロについて

桃園国際空港を經由して、台北市街と桃園市を結ぶ鉄道で2017年3月に開業。

全長は51.03 kmで、台北市内および空港駅周辺は地下線、その他の区間はほぼ全線が高架。

7月には利用者数が1000万人を超えた。

○桃園国際空港について

1979年（昭和54年）2月に開港した、桃園市に位置する台湾最大の国際空港。

<資料提供先> 関西国際空港記者会、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

この資料についてのお問い合わせは

南海電鉄 総務部（広報担当）

Tel： 06-6644-7125

関西エアポート コーポレートコミュニケーション部

Tel： 072-455-2201